

放水立坑（上流水槽）上流海水配管水の分析結果

要約	分析値	185～235 (Bq/L) (1,500Bq/L未満の確認)
	計算比較	計算値 (127～508Bq/L) と同程度を確認 ※2

放射能分析 トリチウム

核種	採取日時	分析結果		
		分析値 (Bq/L)	不確かさ ※1 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)
H-3	2026/08/15 07:14	2.1E+02	± 2.5E+01	9.3E+00

・ $\bigcirc.\bigcirc\text{E}\pm\bigcirc$ とは、 $\bigcirc.\bigcirc\times 10^{\pm\bigcirc}$ であることを意味する。

（例） $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。

「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数 $k=2$ 」を用いて算出している。

※2 「計算値」とは、測定・確認用設備で分析したトリチウム濃度とALPS処理水、海水の流量比から計算で求めた値。

「計算値」は当社ホームページに掲載している「希釈後トリチウム濃度」を指し、潮位などにより、わずかに変動するが一日をとおして変化するものではないため、原則、試料採取日の午前7時の値を用いて計算比較する。

https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps_fd-month-sel-j.html

分析値は、混合希釈の不確かさ（ $1/2\times$ 計算値～ $2\times$ 計算値）を考慮した計算値と比較する。